

科学的根拠に基づく 歯周病へのアプローチ

Evidence-based approach for the treatment of periodontal disease

清水宏康 著

歯周治療を成功させるための必読書！
『歯界展望』での好評連載，大幅加筆し，
ついに書籍化！

●歯周病は国民病の一つともいわれ，その対応は日々の臨床の中で常に求められていますが，歯周治療計画の立案そのものに悩みをもたれる先生方も多いのではないのでしょうか。

●本書は，歯周治療の臨床に即して，治療計画立案に大切な予後の判定の理解から始まり，各種治療法の予後ならびにその効果の検証，そして個別の病態への対応へと歯周治療の具体的な内容への理解を深める構成です。また，文献的な考察とともに実際の症例を提示し，科学的根拠の理解のみならず，その臨床応用までをビジュアルに解説しました。

●歯周治療計画立案に悩んでいる先生方だけでなく，エビデンスや知識の整理をしたい先生方まで，さまざまにご活用いただける1冊です。



■A4判変型／176頁／オールカラー

■定価（本体 8,200円+税）ISBN978-4-263-46119-8

C O N T E N T S

Chapter I

歯周病の予後を考える

—保存か抜歯の判断基準は？—

Chapter II

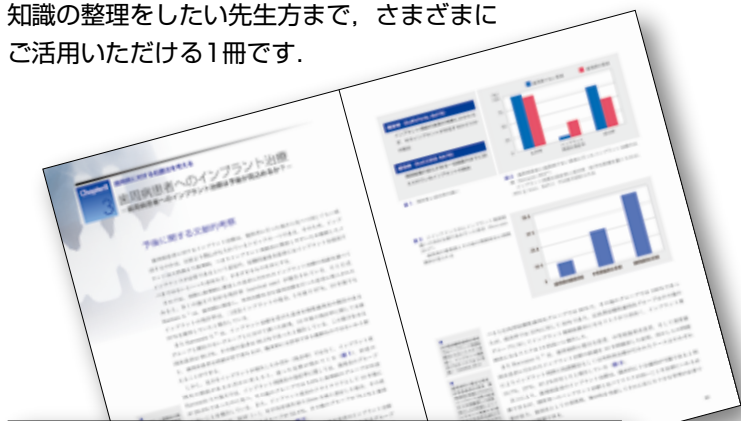
歯周病に対する処置法を考える

Chapter III

個別の病態に対する処置方法を考える

Chapter IV

複雑な症例への対応



医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10
TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633
<http://www.ishiyaku.co.jp/>



科学的根拠に基づく 歯周病へのアプローチ

Evidence-based approach for the treatment of periodontal disease

CONTENTS

Chapter I

歯周病の予後を考える

—保存か抜歯の判断基準は？—

Chapter II

歯周病に対する処置法を考える

1 歯周基本治療

—SRP はどこまでやるべきか？—

2 歯周外科治療

—どのようなときに歯周外科を用いるべきか？—

3 歯周病患者へのインプラント治療

—歯周病患者へのインプラント治療は予後が見込めるか？—

Chapter III

個別の病態に対する処置方法を考える

1 根分岐部病変

—長期維持管理は可能なのか？—

2 エンドペリオ病変

—その診断は適切か？—

3 垂直性骨欠損

—垂直性骨欠損はさらなる骨吸収を予見するものか？—

4 侵襲性歯周炎

—進行性の歯周炎はすべて侵襲性なのか？—

5 咬合性外傷

—外傷を与える咬合とは何か？—

6 歯肉退縮

—根面被覆術によって得られた歯肉は長期の予後が見込めるか？—

7 顎堤吸収

—その予防と回復は可能か？—

8 歯肉レベル不調和

—歯肉レベルのコントロールは可能か？—

9 病的歯牙移動 (PTM)

—矯正処置が歯周組織に与える影響は？—

Chapter IV

複雑な症例への対応

1 Case 1 侵襲性歯周炎

2 Case 2 慢性歯周炎

好評発売中 ● 関連図書のご紹介

歯界展望 別冊

成功する 歯周組織再生治療 —歯を保存するために—

和泉雄一・二階堂雅彦・松井徳雄 編著

歯周組織再生治療を成功させるための実践ガイド！
歯周組織再生治療の基礎から臨床までのすべてを網羅

再生治療を成功させるために、適応症をどのように考え、マテリアルを選択し、術式を行っていくかを豊富な症例とともにStep by Stepで解説。

■A4判変型／184頁／オールカラー ■定価（本体 5,800円＋税） 注文コード：351010



医歯薬出版 ご注文承り書

科学的根拠に基づく歯周病へのアプローチ

()冊

歯界展望 別冊 成功する 歯周組織再生治療 —歯を保存するために—

()冊

ご指定納入店 [] (納入店ご指定の場合 手数料はかかりません。) 直送希望 (代金引換のみのお取り扱いとなります。 一回の発送につき送料200円＋代引き手数料250円が別途かかります。)

●お名前

●TEL

●ご住所 (〒 —)

★必要事項をご記入の上、FAX. 03-5395-7633 にご送信ください。★弊社ホームページ <http://www.ishiyaku.co.jp/> からもお申し込みいただけます。
医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630

2015年2月パンフレット作成